

主

かんら

議会だより

群馬県甘楽町議会
令和8年(2026年)

1月15日

204号

プレーパーク



※表紙の説明は14頁をご覧ください



インターネット
からも閲覧
できます!



令和7年(2025年)12月定例会開催

第4回定例会…………… 2
一般質問5人が町政を問う……3~7
議会を傍聴しよう!…………… 8
「議場」ってどんなところ?・日程… 9

議会活動報告…………… 10~12
モニターさんの声・全員協議会報告
……………13
みんなで紡ぐ情景・編集後記……14

令和7年 甘楽町議会 第4回定例会(12月)

第4回定例会を12月5日(金)から11日(木)まで7日間の会期で開催しました。
町長から提出された議案18件について審議・採決した結果、すべて原案のとおり可決しました。最終日には、5名の議員が7問の一般質問を行い、閉会しました。

補正予算 6件

会 計 区 分	補 正 額		補正後の総額	
一般会計	6,360万円		63億7,682万円	
	主な補正内容は、人事院勧告に伴う人件費の増額など。			
国民健康保険事業特別会計	2,450万円		14億8,693万円	
介護保険事業特別会計	230万円		12億7,222万円	
後期高齢者医療特別会計	11万6千円		2億1,458万9千円	
水道事業会計	収入補正額	収入総額	支出補正額	支出総額
収益的収支【税抜】			5万1千円	2億5,743万円
資本的収支【税込】	107万8千円	6,757万8千円	46万円	2億1,256万6千円
下水道事業会計	収入補正額	収入総額	支出補正額	支出総額
収益的収支【税抜】	1億9,679万3千円	6億4,532万5千円	22万5千円	4億4,835万7千円
資本的収支【税込】	△1億9,679万3千円	5,681万6千円	22万9千円	2億7,806万2千円

協議 3件

● 県市町村総合事務組合の規約変更

● 県市町村総合事務組合の災害弔慰金の支給等に関する事務に係る共同処理の取り止めに伴う財産処分

● 県市町村総合事務組合の組織団体の名称変更及び、県市町村総合事務組合の一部事務の取り止めに伴い財産処分を行うため

● 県市町村公平委員会共同設置規約の変更
県市町村公平委員会の共同設置団体の名称変更及び、共同設置団体に1団体加入するため

条例の一部改正 9件

● 町議会議員の議員報酬等に関する条例

● 町長、副町長及び教育長の諸給与支給条例
人事院勧告に準じた町議

会議員及び町特別職の期末手当の改定

● 町職員の給与に関する条例

● 町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例

人事院勧告に準じた町職員及び町会計年度任用職員の給与改定

● 町旅費支給条例

● 町議会議員及び町長の選挙における選挙運動用自動車の使用等の公営に関する条例

● 町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例

● 町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例

● 町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例
上位法等の改正に伴う所要の改正

5人の議員が発言

1. 北部水田地帯の農業用水安定供給について (4ページ) はぎわら かずあき 萩原 一章 議員
2. デマンドタクシー運行状況について (4ページ) よこ おの 横尾 稔 議員
3. 移動販売事業の周知と活用促進について (5ページ) なかしやう みちあき 中條 道明 議員
4. 町のあちこちに四阿を設置し、日よけスペース等の確保を (5ページ) あすまや やまだ くにひこ 山田 邦彦 議員
5. 健康遊具を町じゅうに設置を (6ページ) 山田 邦彦 議員
6. 職員数の適正化について (6ページ) た なか すすむ 田中 享 議員
7. 令和8年度予算編成について (7ページ) 田中 享 議員

ここが聞きたい!

町政を問う「一般質問」

「一般質問」とは、議員が、町長をはじめとする執行機関に対して行う質問のことです。

内容は行政全般にわたり、事務の執行状況や将来の方針などについて所信や疑問をただしたり、報告や説明を求めたりします。
※内容を要約して通告順(発言順)に掲載します。

各議員の一般質問に関連するSDGsのロゴを掲載しています

SDGsは国連で採択された、持続可能でより良い社会の実現を目指す世界共通の目標です。

豊かさを追求しながら地球環境を守るため、17の国際目標と、目標を達成するための具体的な169のターゲットで構成されています。



町ホームページにアクセスしてご覧ください!

- ◆ 一般質問の様子(一部)をYouTubeにて録画配信しています。

URL : <https://www.town.kanra.lg.jp/gikai-jimu/gikai/news/20210402094343.html>

- ◆ スマートフォンやタブレット端末で、こちらの二次元コードを読み取ると「録画配信ご案内のページ」に簡単にアクセスできます。



- ◆ 本会議の会議録を公開しています。会議録では一般質問の全文を見ることができます。

注) 公開までには一定の期間を要します。

URL : <https://www.town.kanra.lg.jp/gikai/kaigiroku/index.html>





はぎわら かずあき
秋原 一章 議員

問

農業用水の安定供給を

2 飢饉を
ゼロに



答

雄川の全量取水に努める

■議員 甘楽町北部水

田地帯は、重要な穀倉地帯となっています。

しかし、その農業用水のほとんどは、雄川堰に頼っており、農家は、毎年のように水不足に悩んでいます。そこで伺います。

①北部水田地帯の農業用水供給の現状はどのようなになっていますか。

②安定供給に向けて、用水路の改善に取り組んではいかがでしょうか。

③当該地域のほとんどは、農業振興地域に指定されていますが、東西から、住宅地化や商業地化が進行してきています。

町としての方針をお示し下さい。

■町長

近年の少雨高温化は、農業用水の安定供給を大きく脅かす重大な課題であり、農業用水の安定供給は喫

緊の課題であります。

①既存水源に依存した供給体制となっている中で渇水時の対応については、少ない水量で水量調整を行い、少ない量でも届くように各組合にて、対応していただいております。

②町では既存の用水路改修等を行い、安定供給に向けて対策を行っております。鍋川地区

国営土地改良事業等推進協議会に施設部会があり、老朽化した国営幹線の改修計画の検討と並行して、例えば国営幹線から雄川堰へ給水を行うなど渇水対策

の検討を進めております。

③総合計画では甘楽北部地区の水田地帯は、農業振興ゾーンに位置付けられています。地元農家や地域との話し

合いを深め、関係機関との協議を重ねて、地域にあった農業振興に取り組んでいく方針です。



北部水田地帯



よこ おのり
横尾 稔 議員

問

デマンド交通持続への取り組みは

11 住み続けられるまちづくりを



答

利用促進に努める

■議員

本町は、山間地、丘陵地、平地と変化に富んだ地形をしています。少子高齢化や

過疎化などで公共交通機関の廃止や縮小が進み、買い物難民の防止や、高齢者の福祉のため、予約する町民に

応じて運行する「デマンドタクシー」交通方式が導入されています。

特に山間地域における住民の「生活の足」を守るデマンド型交通の役割は、ますます重要性を増しています。

①運行形態を伺います。

②予約方法と、地域別の利用状況を伺います。

■町長

①甘楽町は乗合い方式の自由経路型でドアツードアの運行形態です。

②現在は電話またはFAXで出発時刻1時間前までに予約となっています。今後は新たな予約方法を研究・検討していく予定であり、

他市町村の予約システムの情報収集をしています。地域別の利用状況は、小幡地区1、5

73回、秋畑地区1、358回、福島地区859回、新屋地区2、184回、町外167回です。

③現在の委託業者は7名のドライバーで運営していますが、高齢化は否めない状況で、ドライバー不足は今後さらに進むと思われます。



■議員 近年高齢化が進み、交通手段を持たない高齢者が日常の買い物に困難を感じる「買い物弱者」の問題が顕在化しています。現在、4事業者が町の補助金を受けて、見守り機能を兼ねた移動販売事業を展開していると伺っています。しかしながら、利用者が限定的との声も聞かれます。そこで町の見解を伺います。

①現在補助金を受けている4事業者の活動内容と見守り機能の具体的な実施状況について

②この制度の周知方法と、広報強化の方針について

③利用者拡大に向けたほかの事業者や自治会との連携の可能性について

■町長 いわゆる「買い物弱者」への支援のあり方が全国的にも課題となっていることは承知しています。

①現在、町内外合わせて4つの事業者に見守りを兼ねた移動販売を実施いただいています。週2回から6回程度町が認めた買い物困難地域を中心に、町内ほぼ全域で定期的に実施していただいています。令和6年度の実績は、利用人数延べ10,218人、回数は636回です。

②令和4年11月の広報で紹介記事を掲載して以降、特段の周知ができていません。今後は、いつ・どこに・どの業者が来るのかが分かるような周知が必要と考えており、周知方法等



③現行の業者による巡回地域の拡大の可能性をはじめ、他の業者との連携・協力について模索してまいります。自治会との連携では、区長さんを通じて移動販売の周知をはじめ、地域の声を伺うなどして、見守り強化・支援の充実を図ってまいります。

■議員 近年気候の『沸騰化』や『ゲリラ豪雨』の中で、野球やサッカーなど長時間使用（観戦）するときに「日傘」程度では熱中症のリスクは取り払えません。場所ごとにサイズなどを変えると「コスト」がかかりますので、いわゆる「甘楽型」（子ども参加のコンクール）の四阿を作り設置をすれば、安価で良いものができると思います。

①ふれあいの丘、運動公園を中心に、四阿を設置してはどうか。

②まちなかにも住民の声を伺いながら、設置を進めてはどうか。

③「甘楽型」は、愛着がわき、大事に使ってくれると思います。

■町長 「沸騰化」と称される猛暑が頻発し、長時間の屋外滞在は熱中症のリスクを高めており、日傘や植樹による緑化だけでは十分なリスクを除去できない状況にあります。

①ふれあいの丘及び総合公園については主要な観戦・運動エリアのため、四阿やシェルター、日差し除けのパーゴラなどの整備を考えていきます。利用実態や計画的な整備を検討してまいります。

②一般的な四阿の設置費用で約500万円となり、かなり高額となりますので慎重に検討を進めていきたいと思いますが、今年度には福島幼稚園跡地、来年度には小幡幼稚園跡地



に設置予定であります。

③四阿は建築物となり、建築確認申請が必要で関係法令と適合しなくてはなりません。オーダーメイド（甘楽型）となるとコスト削減のため大量生産して、その材料の保管場所の確保も必要になるなど、現状では設置の予定はありません。



なかじょう みちあき
中條 道明 議員

答

問

適切な周知方法を検討する

移動販売の周知と活用の促進を



やま だ くにひこ
山田 邦彦 議員

答

問

計画的な整備を検討する

熱中症対策のために四阿の設置を



山田 邦彦 議員

問

健康遊具を町じゅうに設置を

答

陸上競技場周辺に設置を進める

3 すべての人に健康と福祉を



■議員 「健康遊具」(ス

トレッチや軽い運動など、体を鍛えることや健康づくりを目的とした、主に大人用の遊具は、決意をもってジムに通わなくても気軽に利用できます。病気やケガの予防にもなり、病後やケガのリハビリにもなります。

①ふれあいの丘や各公園、散歩コースの途中などに設置をしてはどうか。

②「こんにゃくパーク」さんも設置してありますが、各商業施設などにも設置の要請をしてはどうか。

③その際、補助などを行い「公私連携」で行うことも視野に入れると行いやすいと思いますが如何でしょう。

■町長 健康寿命とは

「健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間」と定義されています。この期間を延ばすには、食生活、社会参加、そして運動が重要とされています。

①幅広い利用対象者を

考慮した設置場所の確保や安全確保の観点を踏まえた上で、まずは利用者が多い「ふれあいの丘 陸上競技場」

周辺への設置に向け進めていきます。しかしながら、高齢者の方などは、まずは歩くことのほうがおすすめるかと思われ、既存の公園や遊歩道などを活用し、多くの方に散歩をはじめとした軽い運動に親しんでいただ

るよう、推進してまいります。

②③来訪者向けの商業施設は対象施設も限られますと町にも管理責任が出てくると思われるし、公平性の観点から実施できないと考えています。



■議員 「甘楽町職員定

数条例」では職員の定数は130名となっていますが、令和7年度の職員数は約20名少ない状況となっています。そこで甘楽町の職員数の適正化について伺います。

①現在の職員数は、各業務に対して適正と考えられるか。また、増員や配置換えの計画はありますか。

②新規採用者の計画及び外部人材の活用などは検討されているのでしょうか。

③職員の働き方改革や働きやすさ向上のための施策はありますか。

④組織改正は検討されていますか。



たなか 田中 議員

問

町職員数の適正化について

答

継続した職員体制の強化と整備を行う

■町長 令和6年6月

に、保育園・幼稚園施設の公私連携型による民間への移行に沿って職員定数が130人に改正されました。

①現在の職員数については「適正」と考えておりますが、引き続き

専門性の高い分野の人材確保、業務量の増減、業務の効率化など、必要に応じた人員の配置や配置換えを行い、職員の連携強化と最適配置を図ります。

②昨今の自治体業務において、専門的かつ多様化が求められます。そのため職員採用試験の受験可能年齢を40歳まで引上げ、キャリアを有する人材の確保など社会情勢にあった任用に努めています。

④町民の皆さんのため、一層のサービス向上が図れるのであれば必要に応じて実施したいと考えています。



8 働きがいも経済成長も



議員 享

田中

問

新年度の予算編成方針は

答

歳入に合わせた予算組みを行う



■議員 「しあわせホームタウン甘楽」を目指している令和8年度予算編成について伺います。

①最重点施策や重点分野は、どのようなことが位置付けられていますか。

②財政健全化の観点からどのような方針を掲げていますか。また、財源確保の見通しはいかがでしょうか。

③子育て支援や高齢者福祉、地域振興に関する具体的な取り組みはありますか。

④限られた予算や職員数では非常に厳しい状況であると思いますが、スクラップアンドビルドの取り組みはいかがですか。

■町長 財政状況の厳しい状況が続く中、毎年予算編成には苦慮しているところです。

①第6次総合計画及び甘楽町デジタル田園都市構想総合戦略に盛り込まれた各施策を重点課題としています。しかしながら、歳入不足が見込まれるため優先順位を付けながら、歳入に合わせた予算組みを行います。

②国や県の補助金を活用しながら、経常経費のより一層の圧縮を進め、健全な財政運営に努めます。必要な財源は補助金のほか、各基金の繰り入れにより確保し、町債の借入は最小限に抑制し、事業の縮小や廃止についても検討して行っていく

③生活の質を向上させるための様々な事業や支援を出来る限り継続実施していきたいと考えています。

④新規事業が増え続ける中、既存事業の縮小や廃止を実施していく必要があります。予算査定に合わせた各事業の実施方法の検討を行い、役割を果たした事業については、廃止を行っていきます。

⑤国や県の補助金を活用しながら、経常経費のより一層の圧縮を進め、健全な財政運営に努めます。必要な財源は補助金のほか、各基金の繰り入れにより確保し、町債の借入は最小限に抑制し、事業の縮小や廃止についても検討して行っていく



議会を傍聴して 70代 男性

12月11日、議会最終日を区長会で傍聴しました。私は恥ずかしながら、今まで甘楽町に住んでいながら初めての傍聴でした。

私が驚いたのは、傍聴席と議員席との距離が近く、手を伸ばせば議員に触れる近さでありました。そんな中、各議員は少子高齢化に伴う、町民生活の足、生活弱者問題など高齢者が今心配している課題を質問しており、各議員さんも日頃から地域住民との意思疎通が図られ、議員活動をしているのだと痛感しました。

今後は大勢の方に傍聴してもらい、議会に関心を持ってもらい、再選挙のない甘楽町になってほしいものです。

次回の定例会は3月です



3月9日(月)～16日(月)

<一般質問は16日(月)の予定です>

議会を傍聴しませんか？

本会議は一般に公開されています。

16日(月)は12:30より役場ロビーにて傍聴の受付をします。団体での傍聴も受け付けています。

詳しくは議会事務局(☎74-3022/FAX74-5813)までお問い合わせください。

議会を 傍聴しよう!

甘楽町議会の本会議は、どなたでもご覧いただけます。
今回は、傍聴の方法についてご案内します。



本庁舎 2 階に議場があります。



傍聴するには、傍聴券が必要です。
役場1階ロビーで受付簿に住所・氏名
を記入します。そして、傍聴券・会議
資料を受け取ってください。
(会議の途中からでも入れます)



傍聴席の定員は30人です。席
に限りがあるため、先着順と
なります。出入りは自由です。



注意事項

- ◎議場内で飲食は出来ません。
- ◎写真・動画の撮影、録音、録画は出来ません。
(議長の許可を得た報道関係者等を除く)

詳細はこちら⇒



『議場』って どんなところ？



議員席は
3役・課長席と
対面になってるよ

傍聴席からの様子。町政全般にわたる重要事項は、ここで決定されます。

日程（主な活動記録）

10月

16日 町村監査委員全国研修会
17日 チェルタルド市派遣中学生帰国報告会

20日 議員協議会
20日 全員協議会

24日 白倉最終処分場視察研修
26日 古着リサイクル回収

27日
28日

総務文教常任委員会視察研修

30日 甘楽・多野地方議会議員交流会
(長野県小布施町)

研修会

11月

3日 産業文化祭開会式

4日 有功者・総合表彰者表彰式

甘楽富岡地方議会議員連絡協議会研修会

5日 町村議会議員研修会

7日 令和7年度郡社会教育振興協議会視察研修(東京都)

8日 第45回健康祭&食育フェスティバル

9日 小型家電回収

11日 廃棄物減量等推進協議会

公立学校在り方検討会

14日 生活支援サポーター養成研修会

17日
18日

社会産業常任委員会視察研修

(栃木県大田原市)

20日 議員協議会

21日 全員協議会

22日 PTA予算要望

23日 地域防災訓練(新屋地区)

25日 農業振興地域整備促進協議会総会

28日 議会運営委員会

議会広報常任委員会

12月

1日 消防団歳末夜間特別警戒出発式

3日 文化会館企画運営委員会

5日
11日

第4回定例会

古タイヤ有料回収

16日 第1回防災会議

生涯学習推進協議会講演会

17日 都市農村交流協合理事会

18日 都市農村交流協会評議委員会

23日 議会広報常任委員会

24日 広城市町村圏振興整備組合議会

12月臨時会

1月

1日 元旦駅伝

6日 県議会新春交流会

上毛新聞社新年交歓会

11日 新年互礼会

消防団出初式

20歳のつどい

13日 富岡警察署初点検

子ども・子育て審議会

毎月開催

・ 町例月出納検査
・ 広域圏例月出納検査
・ 小口融資審査会

総務文教常任委員会視察研修

10月17日(金)・18日(土)

独自のまちづくりの歴史

小布施町は長野県北部の長野盆地に位置し、千曲川など3つの川と雁田山に囲まれた自然豊かな町です。

町役場を中心に半径2kmの円には、ほとんどの集落が入る小さな町で、昼夜の寒暖差と扇状地からなる肥沃な大地でおいしい果樹が育まれ、水はけのよい酸性土壌では特産の栗が生産されています。また北信農の経済・文化の中心地として栄え、葛飾北斎や小林一茶をはじめ多くの文人墨客が訪れ、地域文化の発展に寄与しており、葛飾北斎記念館をはじめ多くの観光資源に恵まれています。周辺の家庭も協力し、外はみんなのもの、内は自分のものとして、各家庭の庭などは観光客が自由に通れるようになっており、年間約100



総務文教常任委員長 中野 喜久勇



万人の観光客が訪れるとのこと。また、移住者の増加を図り、魅力ある制度を導入して、人口を増やしたいとしています。現在、移住による定住者は9世帯、地域おこし協力隊員は3名ですが、15名を目標としています。

人口は11,000人程度で推移し、議会議員の定数は14名で「開かれた議会」「迅速性のある議会」を実現するため、議会基本条例を制定し、議会の会期は通年制とし、必要に応じて本会議、委員会を開けるとのことでした。

社会産業常任委員会視察研修

11月17日(月)・18日(火)

グリーンツーリズムで活性化

社会産業常任委員6名と随伴担当課長2名で、農林水産省『多様な農泊の取り組み事例集』で紹介された、栃木県大田原市のグリーンツーリズム事業について視察研修してきました。

大田原市は、人口68,000人超、農業は米や麦を中心としつつ、ウド、ネギ、イチゴ、梨など園芸作物の栽培も盛んで、肥沃な土壌と清流に恵まれた環境が、豊かな農産物の生産



社会産業常任委員会委員長 横尾 稔



を支えている街でした。「那須与一」ゆかりの地として伝承館もあり、甘楽町那須地区との関係性を感じる街でもありました。

市は、農業従事者の減少

と高齢化により、農業衰退の危機と観光客が少ないことがきっかけで、同市を中心とした周辺4市町で「農泊・農業体験事業」を実施しています。2012年に株式会社を設立し、農泊の受入れ窓口を務めているほか、100を超える体験プログラムの企画・提供を行っています。今では約180軒の農家が登録され、宿泊者数6,500人越、農泊による関係人口創出とともに、地域経済の活性化にも貢献しています。成功自治体から、重要な要素を学ぶことができた視察研修でした。

総務文教常任委員会

町内視察

12月9日(火)

新しくなった見晴台

よしだ きょうすけ
吉田 恭介

経年劣化による見晴台の建て替え
工事が行われ、完成した姿を視察し
ました。

麻場城は戦国時代の豪族白倉氏の
居城でありました。見晴台が新しく
なったことにより、当時の雰囲気
が一層感じ易くなりました。また、
新しくなったことにより、雰囲気も
明るくなり親しみやすくなりました。
当日は快晴だったこともあり、見
晴台から眺める景色は、甘楽町一帯
が見えるようでした。整備された麻
場城跡にぜひ皆様も訪れて下さい。



美味しい給食提供の
ために

やまだ くにひこ
山田 邦彦

衛生管理を
徹底し、毎日
約930名の
子どもたちに、
おいしい給食
を提供するた
めに努力する
姿を視ること
ができました。

「残飯」が少
なくなるよう
に、「おいしく
な一れ」と思
いながら、味、色、大きさなどを工
夫しながらの取り組みがわかりまし
た。

試食は子どもたちに大人気の「カ
レーライス」でした。2種類の芋と
3種類の豆が入っていて、自宅での
参考になりました。

センターには、原則当日搬入され、
新鮮な野菜を調理しています。オー
ガニックと地産地消(町内産は約60%)
をテーマにした給食は子どもたちの
健康を支えていると感じました。



甘楽町でアボカドを

しらいし とよき
白石 豊樹

3年前に甘楽町に移住して、アボ
カドの栽培に挑戦している金田さん
のハウスを訪問しました。

中には高さ2メートル前後のアボ
カドが100鉢ほど並べられていて、
暑さと寒さに比較的強いことがアボ
カドを選んだ理由だそうです。水
と温度管理には気を付けているそう
です。現在3年目で木を育てている
状態のため、出荷にはまだ至って
いません。

甘楽町を選ん
だ理由は、町の
対応が大変協力的
だったからと
のこと。食べ方
のお勧めは、ワ
サビを付けた刺
身だとのこと
で、いただく
真にその通り。

これからの出
荷に期待しま
す。



かんらの檸檬

かねた まずみ
金田 倍視

福島地区国道
254号沿いで
レモン100株
余りを栽培して
いる中野さんの
ハウスを視察さ
せていただきま
した。9年前か
ら始めた事業と
のことです。

現在は誘引さ
れた枝に黄色く
きれいに色づい
たものからまだ青々としている果実
がたわわに実っていました。出荷は
2月頃まで続くそうです。

卸先は道の駅、JA、飲食店、製
菓店、また個人が直接訪れるとのこ
とです。

レモネードやレモンスカッシュな
どは私達でも簡単に作ることができ
ます。

かんらブランドの「かんらの天水」
「蜂蜜」などと併せて「かんら地場産」
を楽しみましょう。



地質学からみた甘楽・多野地域の特徴

甘楽・多野地域町村議会議員交流会

10月30日(木)甘楽・多野地域町村議会議員交流会(下仁田町・南牧村・神流町・上野村・甘楽町の議会議員で構成)が下仁田町で開催されました。

講師は、開催地下仁田町自然史館なかむらよしかつの中村由克館長にお願いし「下仁田ジオパークについて」主に地質学の観点からジオパークを構成する3つのテーマ・ストーリーについてご講演いただきました。



私たちの知らない群馬県の魅力

富岡甘楽地方議会議員連絡協議会研修会



11月4日(火)、富岡甘楽地方議会議員連絡協議会(富岡市・下仁田町・南牧村・甘楽町の議会議員で構成)の研修会が開催されました。

講師にぐんま暮らし支援センター相談員の上原うえはら憂己氏をお招きし「あなたの隣の移住～移住希望地ランキング2024年1位・群馬県の魅力と暮らし～」と題し、ご講演いただきました。

移住先としての群馬県の魅力と富岡甘楽地域の今後の可能性について、現在の移住者の傾向なども交えてとても詳しく説明いただきました。

県内町村議会議員が合同で学ぶ

群馬県町村議会議員研修会

11月5日(水)、玉村町文化会館で群馬県町村議会議長会が主催の議員研修会が開催されました。

県内各町村の議会議員が一堂に集まる年に1回の大規模な研修会で、今年は湯浅壱道氏と細川隆三氏ほそがわりゅうさうを講師にお招きし、議会のデジタル化の課題や近年の国会について講演いただきました。

- ・湯浅壱道氏
『地方議会のデジタル化の意義と課題』
- ・細川隆三氏
『時局展望』



モニターさんの声(203号について)

真剣に取り組んでいる姿が目を引きますね。

写真のサイズを統一し、表情が分かるくらいの大きさが良いと思いました。

表紙

表形式がとても見やすいです！
表が加わってすっきりとして読みやすくなったと感じました。

P.2

それぞれの質問のところに写真やイラストを載せるのは、明るい感じがしてよいと思いました。

P.5~10

専門的な用語の意味、説明があり分かりやすく、決算状況が身近に感じられます。

P.3

レイアウトが若干違うだけで、今号はかなり見やすく感じました。

裏表紙

傍聴した感想をみて次回の傍聴に参加してみたいと思いました。

P.11

モニターの声を受けて何か変化があったのか、変化する予定があるかなど、進捗状況を入れるといいと思います。

P.12~13

討論テーマの内容の概要的な記載がある
といいと思いました。
紙面だけで概要が分かる構成が良いと思います。

P.4

203号へのご意見ありがとうございます。
いただいたコメントの全文と議会からの回答はHPに掲載しています。ぜひご覧ください。



全 員 協 議 会 報 告

10月20日(月)

議員協議会

- 富岡甘楽広域市町村圏振興整備組合定例会報告 他5件

全員協議会

- 令和7年度 総合表彰式について 他16件

11月20日(木)

議員協議会

- 総務文教常任委員会行政視察報告 他10件

全員協議会

- 令和7年度 冬の県民交通安全運動について 他14件

12月11日(木)

議員協議会

- 小口融資審査会報告 他6件

全員協議会

- 甘楽町地域防災計画策定<改訂>について 他13件

平和不動尊節分祭

■所在地 甘楽町大字善慶寺421-1 福厳寺

昔より地域の人々から親しまれてきた「平和不動尊」はその名の通り、人々の心の平和と社会の平和を願うお不動様です。

節分の日には家々から「鬼は外、福は内」の声が聞かれなくなったのを憂い、50年ほど前、地域の人たちが集まって始めたのがこの節分^{きとうえ}分析^{だいはん}祈祷^{にゃきよう}会です。近隣寺院の10人ほどの僧侶たちが一心に大般若経を転読し、人々の平穏や社会の平和を祈祷します。どなたでも参加できます。

毎年、2月3日の節分には、福厳寺の庭に多くの人が集まり賑やかに開催されます。



文：福厳寺住職

編集後記

新春を迎え皆様いかがお過ごしでしょうか。

昨年からは、転出より転入が多くなる人口の社会増が続いています。これは、議会として注力してきた「子育て支援」の充実が寄与しているものと考えます。

本年も、町民の声に耳を傾け、議員一同、全力で職務に取り組んでまいります。

「読みやすく」「親しみやすい」紙面づくりと議会の「今」を分かりやすく、お伝えできるよう、議会モニターさん4名の意見を参考にして編集にあたっていますので、本年も、ご愛読くださいますようお願い申し上げます。

横尾 稔 記

表紙の説明

今年11月からNPO法人の主催する「プレーパーク」が甘楽町で始まりました。

子どもの好奇心を大切に、自分の責任で自由に遊ぶことを目的としており、赤ちゃんから大人まで誰でも楽しむことが出来ます。

2回目となる今回は陸上競技場で青空の下、工作をしたり鬼ごっこをしたりと、子どもたちがそれぞれやりたいことを自由に楽しんでいる姿が見られました。

議会広報常任委員会

発行責任者 議長 金田 倍視

委員長 田中 享

副委員長 山田 邦彦

委員 中條 道明

委員 横尾 稔

委員 堀口 博

委員 中野喜久勇

皆さんのご意見、ご感想をお寄せください。